

Groupe PSA、第1四半期の収益は152億€ (プレスリリース抄訳)

※本プレスリリースの正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語版が優先されます。



- Groupe PSAの2020年第1四半期の収益は対前年-15.6%の152億€
- 自動車事業部門の収支は -15.7%で119億€。販売台数の急減による減益は、販売モデルのプロダクトミックス（構成配分）戦略により一部、相殺
- 連結収支は対昨年 -29%
- 強化衛生習慣に関する協約に基づき、Groupe PSAの優先事項は従業員の保護の徹底と今後の企業の将来性の確保

Groupe全体の今年の第1四半期の総利益

連結151億7,900万€で終結した。2019年の同期実績は179億7,600万€。

自動車事業部門の第1四半期の収益

119億3,400万€、対昨年同時期に対し-15.7%となります。販売モデルのプロダクトミックス（構成配分）の効果（+5.3%）と価格戦略による効果（+0.5%）、その他の効果（+3.5%）、法人販売（+0.1%）などのプラス効果が、販売台数激減と販売展開先の各国での実績不振（-24.6%）と為替差損（-0.5%）等のマイナス要因を部分的に相殺し、打撃を抑えることができました。

627,000台の販売台数

2020年第1四半期の実績は627,000台の販売台数。このたびのCOVID-19危機の影響を受け、前年の実績を下回っています。

正規販売店とインポーターの総棚卸資産

2020年3月末時点で715,000台となり、これは昨対1,000台減となります。

子会社のフォレシアの総利益

37万3900€にまで減少。Groupe PSAの最高財務責任者（CFO）、フィリップ・ロヴィラは以下のようにコメントしています。

「現金化への流動性の確保と、迅速な経費削減を図ったおかげで、我が社はこの混沌とした経済環境のもと、今後いかに回復できるかに向け準備を進めることができます」

Reuil-Malmaison 発、2020年4月21日

市況

Groupe PSAとしては2020年、欧州の自動車市場は25%減、中国市場で10%減、ラテン・アメリカ諸国で15%減、そしてロシア市場で20%減となることを予測しています。

COVID-19の拡散規模や期間、そして地理的拡散具合や対象国で実施している対策にもよるものの、現状、直近の市況を読むことは難しいと判断しています。

今後の活動

Groupe PSAは今後、2019年から2021年の算出期間内で、自動車事業分野の調整営業利益（総利益のうちの調整済みの営業利益）を4.5%以上に引き上げられるよう、目標を掲げています。

2020年第1四半期の収支報告に関するプレゼンテーション資料は[こちら\(https://www.groupe-psa.com/en/newsroom/finance/q1-revenue-2020/ \)](https://www.groupe-psa.com/en/newsroom/finance/q1-revenue-2020/)をクリックしてください。

決算スケジュール

2020年 6月25日：2020年度株主総会

2020年 7月28日：当期中間報告発表

2020年10月28日：2020年第3四半期収支報告

本件に関するお問い合わせ

Karine Douet +33 6 61 64 03 83 – karine.douet@mpsa.com

Valérie Gillot +33 6 83 92 92 96 – valerie.gillot@mpsa.com

Reuil-Malmaison 発、2020年4月21日

グループPSAについて

グループPSAは、あらゆる顧客に向けて、独自の自動車体験の創造と、モビリティソリューションを提供しています。グループ全体で210,000人の従業員と5つの自動車ブランド、プジョー、シトロエン、DS、オペル、そしてヴォクソールを擁しています。また、広範なモビリティとスマートなサービスをFree2Moveのブランドで展開しています。グループPSAの“Push to Pass”プランは、グループのビジョンである“a global carmaker with cutting-edge efficiency and a leading mobility provider sustaining lifetime customer relationships”（生涯にわたる顧客との関係を構築するモビリティを提供し、最先端の効率性を備えたグローバルな自動車メーカー）になることを目指しています。自動運転とコネクテッドカーの領域でアーリーイノベーターのひとつであるグループPSAは、PSAファイナンスを通じた金融活動およびフォルシアによる自動車関連サプライヤーとしても関与しています。また、2019年12月18日にFCA（Fiat Chrysler Automobiles N.V.）との対等合併に調印いたしました。新会社はOEM生産規模にして世界第4位、売上高にして世界第3位の自動車企業となります。

プジョーについて

顧客へのブランドのコミットメントは、爽快で情熱に満ちたドライビング、個性的なデザイン、そして妥協のない品質を示しています。これらのDNAは、プジョーの全てのモデルに注がれています。プジョーは世界へ向けて多彩な商品を提供するメインストリーム・ブランドを目指し、緻密なデザイン、高い品質水準、そしてエモーションを融合しています。1889年に始まったブランドの歴史は、2017年ダカールラリーにおける3008DKRの歴史的な1-2-3フィニッシュによって新たな栄誉を獲得、2018年も総合優勝を果たし3連覇を達成。UNBORING THE FUTUREの新ブランドタグラインは、テクノロジーに支配されるのではなく、未来においても感動に溢れたクルマ創りを続けていくというプジョーの決意を表しています。

シトロエンについて

1919年の創業以来、インターナショナルなフルライン自動車ブランドとして、堂々と、そしてクリエイティブなアプローチでつねにマーケットに臨んできたのがシトロエンです。シトロエンの各車を通じて個性溢れる特徴的なデザインとコンフォート性と先進技術によって自動車のある幸せなライフスタイルを提案し、自動車産業に新たな風を吹かせています。クルマに乗る人々とそのライフスタイルを真の意味で反映させたプロダクトを提供することを使命としており、ブランドのタグライン“Inspired by You”には、このフィロソフィーが込められています。シトロエンの製品は80近い国々で販売されており、2018年にはおよそ105万台の販売数を記録いたしました。また、日本国内市場は2018年度で前年比+15%と好調に推移してします。ブランド100周年となる2019年の今年はフランス本国はもちろんのこと、日本を含めた世界各国でさまざまな記念イベントが開催されました。

DS オートモビルについて

DS AUTOMOBILES（DSオートモビル）の目指すところは伝統のクルマが身にまとうアヴァンギャルド、前衛の精神「SPIRIT OF AVANT-GARDE」を受け継ぎ、フレンチブランドだけが成しえる「ラグジュアリー」をキーワードとしたフランスの自動車文化を復活させることです。ブランドの源泉となったDSは1955年の発表以来、今もなお20世紀のフランス自動車産業を最も象徴するクルマとして人々に親しまれています。ビジネスでの成功はもちろん、シャルル・ド・ゴール大統領をはじめ多くの政治家や著名人、セレブリティらから愛され、また映画シーンでの起用やスポーツシーンでの活躍など、DSはフランスの人々の生活に彩りを添え、フランス流のスタイルを全世界にアピールしています。DS AUTOMOBILESは、この伝統をバックグラウンドに2014年6月1日にシトロエンから独立し立ち上げられました。DSブランドは、ひときわスタイリッシュなデザインやテクノロジー、ニーズに合わせてダイナミックに変化する快適性、ディテールや素材にこだわったプロダクトとライフスタイルを提案していきます。

Groupe PSA Japan Press Contact

Groupe PSA Japan株式会社
広報室 / TEL 03-6412-7362
toru.mori@mpsa.com